

千葉県のお米が全国第3位

新型コロナウイルス感染症が5類に移行してから初のゴールデンウィークを迎えます。旅行会社の調査によりまずと、期間中の旅行者数は、国内旅行が前年比100・9%の2280万人とほぼ横ばいとなっている一方、海外旅行は前年比167・7%の52万人に上っており、円安にもかかわらず、海外旅行の需要が高まっているようです。

ゴールデンウィークはまとまった休みが取りやすい一方、普段より多くの人移動する期間でもあり、旅費も割高です。連休だからと無理をせず、家でまったり過ごすのも良いかもしれませんね。今月号の2・3ページに掲載している新緑の観光情報などを頼りに、市内散策や飲食店巡りに出かけてみてはいかがでしょう。また、その際には、皆さんにも市内の情報発信の協力をお願いできればと思います。

さて、これをお読みになる頃には、多くの田んぼで田植えが進み、いよいよ匝瑳市らしい風景が楽しめる時期となります。今回はそのお米について少し触れてみたいと思います。皆さんは、お米の基準で一等や二等という表現を聞いたことがあるでしょうか？ この基準はお米の品位等検査を行っている農産物検査官が、お米の粒がそろっているか、着色がないか、汚れや割れがないか、水分含有量はどうかなどの品質検査を行い、何等級であるかの評価



をするものです（ちなみにこの等級は食味の格付けではないそう）。昨年の夏は記録的な猛暑の影響などもあり、お米の高温障害が全国的に発生し、米どころとして知られる新潟県などを含めた11県で一等比率が前年より10ポイント以上低下しました。一方、千葉県の一等比率は上昇し、前年比1・5ポイント増の88・3%となり、全国3位となりました。千葉県は早場米の栽培が盛んなことから、高温障害を受けやすい時期の影響や農薬用水の濁水を回避できたことが功を奏したとみられます。

今後は環境に配慮した農業をより推進していく必要があります。既に本市でも水稲生産者により、安全で安心なちばエゴ基準での特別栽培や有機栽培での米作りが行われております。お米にとどまらず市内産農産物の品質が優れていることを皆さんにも広く知っていただくと共に、私も積極的な情報発信を行い市内産農産物の知名度向上や新たな販路の拡大につなげてまいります。

皆さん市内産のお米をたくさん食べましょう。

匝瑳市長 宮内康幸

匝瑳探訪

日光参拝

八日市場を歩く

5月には八日市場東照宮の例大祭が行われます。今年の1月に拝見した八重垣神社に奉納された絵馬の中に、「日光参拝」に関係したものが3枚ありました。

徳川家康を神格化した東照大権現を主祭神とする日光東照宮は、日本全国の東照宮の総本社とされます。江戸時代、「日光社参」として將軍家が参拝したことなどから庶民にも東照宮参拝が広まったのでしよう。



日光参拝の絵馬

市内には江戸時代から昭和に至る観音霊場や出羽三山などの「巡拝塔」が存在します。そのうち「日光」と刻まれたものは1830年代の2基のみで、いずれも「善光寺」や「秩父霊場」と合わせた巡拝塔です。

1890（明治23）年に八重垣神社へ納められた絵馬には、男性4人の先達や世話人と女性10人の奉納者名と徒歩で日光へ向かう様子が描かれています。女性は尻端折りした着物姿にこうもり傘を差し、車夫と2台の人力車、2本の小旗にはこの絵馬が納められた前年に町村合併で誕生した新町名「福岡町（八日市場町の前身名）」とこの一行の名「新講社」、左上部分には日光の社寺への入り口、朱塗りの神橋が描かれています。

もう1枚は1908（明治41）年に奉納され、女性8人の名と茶店できつろいでいる様子、左上部分には同じく神橋が描かれています。1897（明治30）年に現在のJR総武本線東京―銚子間が開通しており、この参拝は列車を利用したのでしょうか。

あとの1枚は表面の剥落が目立ち神橋のみがわずかに確認できる状態で奉納年や講員名を知ることができません。八日市場東照宮に信者の集まりである「講社」が明治の中頃に存在し、無事に日光参拝できたことで、「日光参拝」の絵馬を奉納したのでしょうか。

（市文化財審議会委員・依知川雅一）

問 秘書課広報広聴班 ☎73・0080

文芸コーナー

力作募集中

宛先：匝瑳市秘書課広報広聴班
〒289-2198 匝瑳市八日市場八793番地2
☎73・0080 FAX72・1114

短歌

依知川 雅一 推薦

バラの鉢蛙の子ども遊びきて

また明日も来るそんな目をして

気を持たせ桜前線足踏みし

まだかまだかと春の訪れ

老妻の淹れしコーヒー香の立ちて

青春談義刻を忘るる

この先に願いが叶うことあれば

ミモザ咲く春我は逝きたし

萌え出する日本桜草そこかしこ

縮む葉柄も春の彩り

春分の連絡道に人の波

一度限りを吾も踏みしめ

夫よりも長く付き合う花粉症

金婚式ももうすぐかしら

川口 城司 推薦

訪問入浴受けつつ夫がいただきし

千支縫ひぐるみ早やよつつなり

椿落ち陽光桜レンギヨウは

花満ち桃の一輪咲きし日

稲葉 雪子

石田 治

俳句

椿 和枝 推薦

春雨や特別急行ラストラン

遠的や雀隠れに矢を探す

ライトアップ消えてぼんやり春の星

検診の問診表や花の雨

鶯の声たかだかと伸び伸びと

ものの芽のほぐるる先の光かな

訪ねくる方を待ちあまる春炬燵

川口 城司 推薦

立ち止まり膝つきつまむ仏の座

七草にオモチヤかたづけすする粥

川柳

勝又 康之 推薦

バイバイと曾孫の握手あたたかい

駆け抜ける桜の下をランドセル

我が家には曾孫誕生福来る

初めての母と一緒の列車旅

初任給貰った孫からお年玉

桜晴れ干した布団が息をする

春を待ちドジャーブルーのシャツを買う

川口 城司 推薦

歳老いてオシヤレのつもり妻笑う

かの知事はリニアを抜いて走り去り

味よりもオシヤレな料理バエが先

野仲てつ幹

伊橋 裕子

地域おこし協力隊員のノ クラッとふるさと通信 No.02

思い出の道具の活用

私の活動拠点「ブックカフェ＆リユースぐるり」がオープンして、早くも2カ月が経ちました。「地域の老若男女すべての人の居場所に」「新しい取り組みが始まる場所に」という思いから、店のコンセプトを「Celebrate Local 一地域を祝う」としました。おかげさまで、3月は延べ300人、4月はそれ以上の方が来店してくれました。

皆さんの口から聞こえるのが「ここに来ると新しいものに出会えるね」と

本市の新たな魅力を発掘する地域おこし協力隊員・北條将徳さんが、活動を通じて発見した「匝瑳の輝き」を紹介します。

という言葉。本棚区画貸しの“ブックアパルトメント”に陳列されたモノはもちろん、イベント情報や、居合わせた人同士での交流も楽しんでいただいています。

一方、古本以外にも、火鉢や籠、掛け時計など、その家々の思い出の詰まった「古道具」が寄付で持ち込まれることが増えています。地域の皆さんの物を大切に、大事にする気持ちに気づき、心が温かくなります。



「ぐるり」の入口には、思い出の古道具が持ち込まれている

こうした品物が「ぐるり」と回る地域での資源循環とその活用のため、古道具の持ち込みや活用案を募集しています。